

令和4年6月吉日

山形市福祉のまちづくり活動委員会
委員長 井上 健一

山形市福祉のまちづくり活動委員会活動終了のご報告

私たち山形市福祉のまちづくり活動委員会は、平成15年に山形市の委嘱を受けて、一年間を「バリアフリー推進チーム」として活動し、その成果として『提言書』を提出いたしました。

また、その取り組みの集大成として、「山形市バリアフリーのまちづくり推進モデル【元気であったか山形づくり】」を策定し、更に具体的なモデルとして【げんきであったか山寺づくり】を平成16年に発刊いたしました。

以降、このモデルの具現化に注力して20年を経過して参りました。

この間、山形市啓蒙事業実行委員会とバリアフリー推進チームが合併して、新たに「山形市福祉のまちづくり活動委員会」として平成15年度に結成されました。

山形市行政当局とともに、誰もが住んでよかったと思える山形づくりを目指し、視覚障がい者の歩行を守るため、点字ブロックから障害物を除くための自転車片付け隊や、12月に設定された「障害者の日」と「障害者週間」を市民に認識してもらうためのイベントとして「まちかどコンサート」の開催、また、市内諸施設のバリアフリー状況を調査し作成した「山形市バリアフリーガイドマップ」等の情報提供とその更新等を行って参りました。

当委員会はこれまで、約20年間活動を続けてきましたが、委員の高齢化や、それに伴い役員を引き継いでくれる方がいない状況が生じ、このことに悩みながら数年前から諸検討して参りました。更に、一昨年以来「新型コロナウイルス」の感染拡大により、ほとんど活動ができない状況にもなりました。

このような状況から、本年、令和4年1月11日全委員が集まり、今後のことについて話し合いを持ち協議した結果、残念ながら令和4年3月31日をもって委員会としての活動を終えることを決議いたしました。

これまで皆様からいただきました、まちかどコンサート開催時の広告協賛、出演、参加のご協力、また、山形市立第3中学校の生徒さん方には、自転車片付け隊やガムはがし隊等のボランティア活動のご協力に対し心より感謝申し上げます。

上記事情を踏まえて、山形市行政当局に相談したところ「山形市バリアフリーガイドマップ」等の情報提供事業については、市内多数の事業所等のご協力を得て行ってきた市民にとっても大変有益かつ貴重な情報提供事業であるということから、今後は山形市の事業として継続していきたい旨の意思表示をいただきました。

今後、山形市福祉のまちづくり活動委員会参加の各団体におかれましては、それぞれの団体活動を通して、山形市の「福祉のまちづくり」の一役を担っていかれるものと思います。

以上、謹んでご報告申し上げます。

皆様のご健康ご多幸をお祈りいたします。